

(6) (実施していないがん検診について) 実施していない理由

【全体の傾向】

正社員の[胃がん][肺がん]では「とくに理由はない」が最も多いが、その他のがん検診では正社員・非正社員ともに「がん検診は法律で義務付けられていないため」が最も多く、次いで「とくに理由はない」、「予算・人員・設備が不足しているため」となっている。(表 J2-6-SZ/表 J2-6-HZ)

【正社員】

問2 (6) がん検診を実施していない理由 (該当全てに○) 【表 J2-6-SZ】

<正社員・全体>

上段:件数、下段:構成比(%)

	事業所数	がん検診は法律で義務付けられていないため	予算・人員・設備が不足しているため	企業でがん検診を行う必要性を感じないため	他の主体で既に実施しているため	がん検診をどのようにか分らないため	とくに理由はない	その他	無回答
胃がん	163 100.0	34 20.9	20 12.3	10 6.1	9 5.5	3 1.8	44 27.0	20 12.3	31 19.0
大腸がん	160 100.0	47 29.4	25 15.6	13 8.1	8 5.0	5 3.1	44 27.5	18 11.3	22 13.8
肺がん	191 100.0	43 22.5	26 13.6	16 8.4	9 4.7	7 3.7	54 28.3	29 15.2	31 16.2
子宮頸がん	351 100.0	81 23.1	64 18.2	20 5.7	29 8.3	8 2.3	70 19.9	62 17.7	54 15.4
乳がん	327 100.0	79 24.2	59 18.0	21 6.4	23 7.0	7 2.1	66 20.2	59 18.0	52 15.9

【非正社員】

問2 (6) がん検診を実施していない理由 (該当全てに○) 【表 J2-6-HZ】

<非正社員・全体>

上段:件数、下段:構成比(%)

	事業所数	がん検診は法律で義務付けられていないため	予算・人員・設備が不足しているため	企業でがん検診を行う必要性を感じないため	他の主体で既に実施しているため	がん検診をどのようにか分らないため	とくに理由はない	その他	無回答
胃がん	195 100.0	48 24.6	33 16.9	8 4.1	14 7.2	2 1.0	45 23.1	19 9.7	39 20.0
大腸がん	196 100.0	58 29.6	35 17.9	11 5.6	14 7.1	4 2.0	46 23.5	18 9.2	38 19.4
肺がん	174 100.0	45 25.9	24 13.8	9 5.2	12 6.9	4 2.3	43 24.7	23 13.2	36 20.7
子宮頸がん	340 100.0	84 24.7	69 20.3	15 4.4	36 10.6	9 2.6	65 19.1	50 14.7	53 15.6
乳がん	316 100.0	82 25.9	65 20.6	16 5.1	29 9.2	8 2.5	63 19.9	43 13.6	52 16.5

(7) (実施していないがん検診について) 他の機会での受診を促す取組み

【全体の傾向】

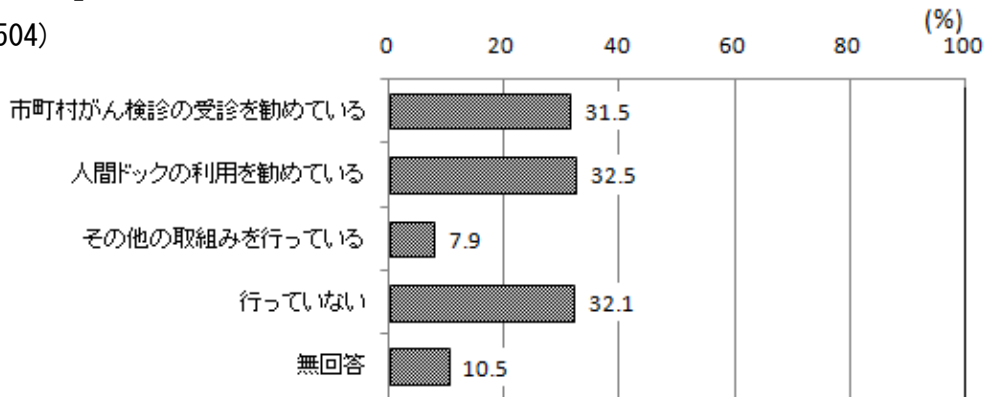
実施していないがん検診について、他の機会でのがん検診の受診を促すために、<何らかの取組みを行っている>事業所は57.3%と半数を超えており、取組みを「行っていない」と回答したのは32.1%。

取組みとしては「人間ドックの利用を勧めている」が32.5%、「市町村がん検診の受診を勧めている」が31.5%。(図 J2-7-1/図 J2-7-2)

問2 (7) 他の機会でのがん検診の受診を促す取組みについて (該当全てに○)

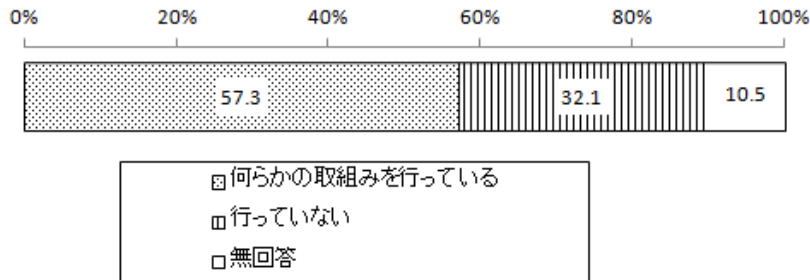
【図 J2-7-1】

(n=504)



問3 (2) より 他の機会でのがん検診の受診を促す取組みの有無※ 【図 J2-7-2】

(n=504)



※ <何らかの取組みを行っている>は、問2 (7) において「市町村がん検診の受診を勧めている」から「その他の取組みを行っている」に1つ以上の選択があった事業所数より算出。

3 各がん検診の検査実施方法及び受診状況

問3 貴事業所で実施した各がん検診の検査実施方法及び受診状況（平成27年度）についてお答えください。

(1) 各がん検診の検査方法（一次検診）

ア. 胃がん

【全体の傾向】

胃がん検診（一次検診）の検査方法は、正社員・非正社員とも「胃X線検査」がそれぞれ84.6%、83.9%で最も多い。

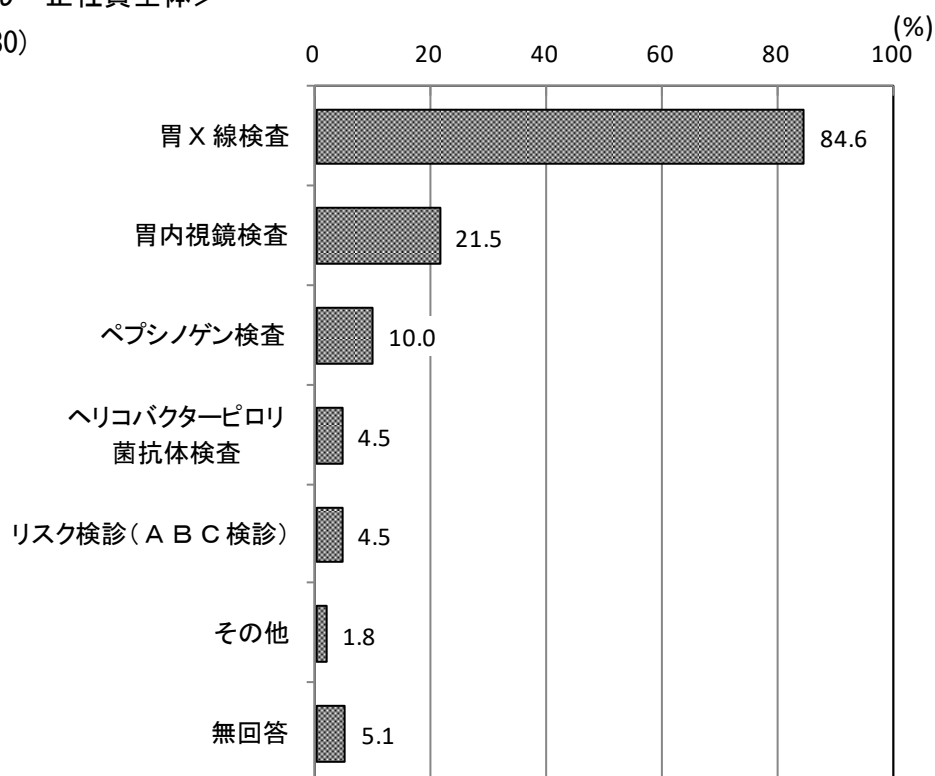
「胃内視鏡検査」がそれぞれ21.5%、19.0%でこれに次いでいる。（図 J3-1-SI／図 J3-1-HI）

[正社員]

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 J3-1-SI】

<胃がん・正社員全体>

(n=780)

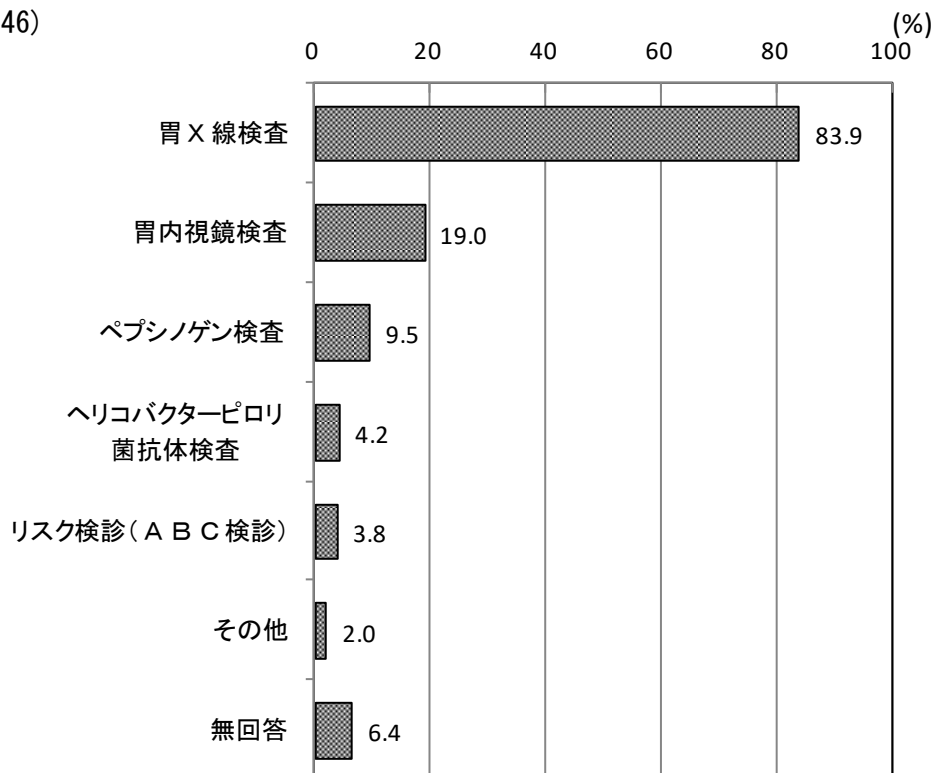


[非正社員]

問3 (1) 検査方法 (一次検診) (該当全てに○) 【図 J3-1-HI】

<胃がん・非正社員全体>

(n=546)



イ. 大腸がん

【全体の傾向】

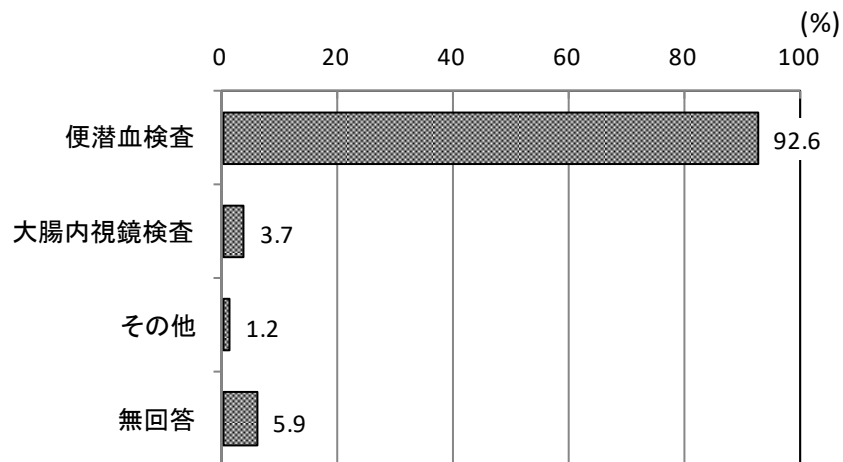
大腸がん検診（一次検診）の検査方法は、正社員・非正社員とも「便潜血検査」がそれぞれ 92.6%、91.1%で最も多い。（図 J3-2-SD／図 J3-2-HD）

[正社員]

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 J3-2-SD】

<大腸がん・正社員全体>

(n=780)

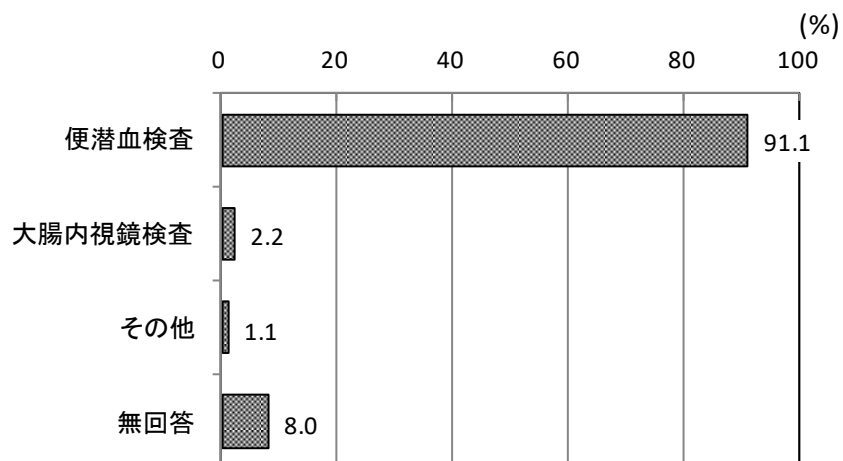


[非正社員]

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 J3-2-HD】

<大腸がん・非正社員全体>

(n=540)



ウ. 肺がん

【全体の傾向】

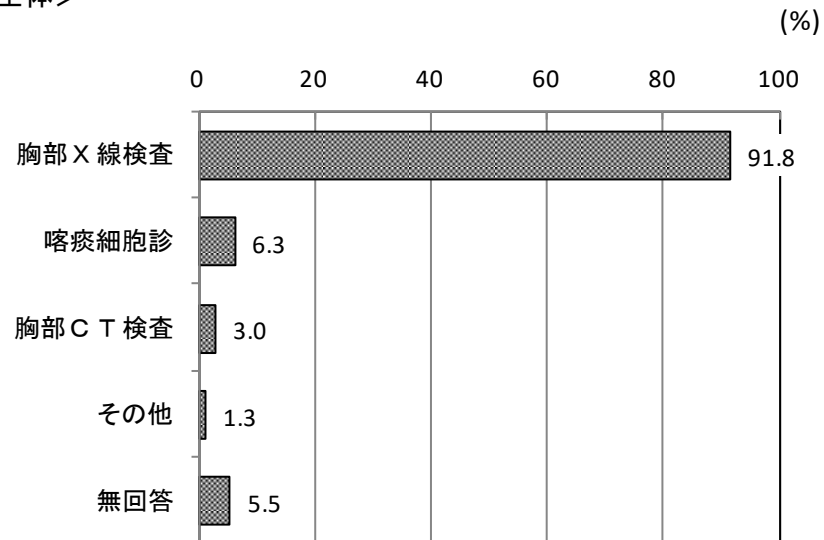
肺がん検診（一次検診）の検査方法は、正社員・非正社員とも「胸部X線検査」がそれぞれ 91.8%、90.6%で最も多い。（図 J3-1-SH／図 J3-1-HH）

[正社員]

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 J3-1-SH】

<肺がん・正社員全体>

(n=745)

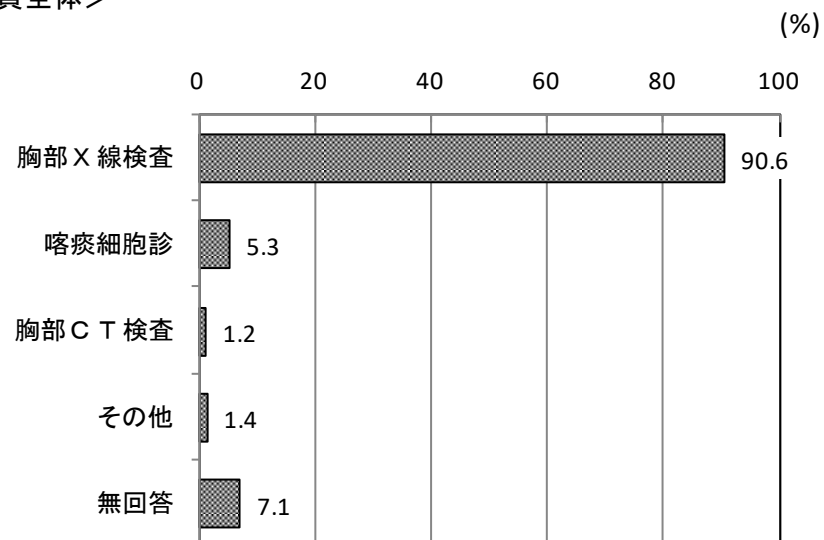


[非正社員]

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 J3-1-HH】

<肺がん・非正社員全体>

(n=565)

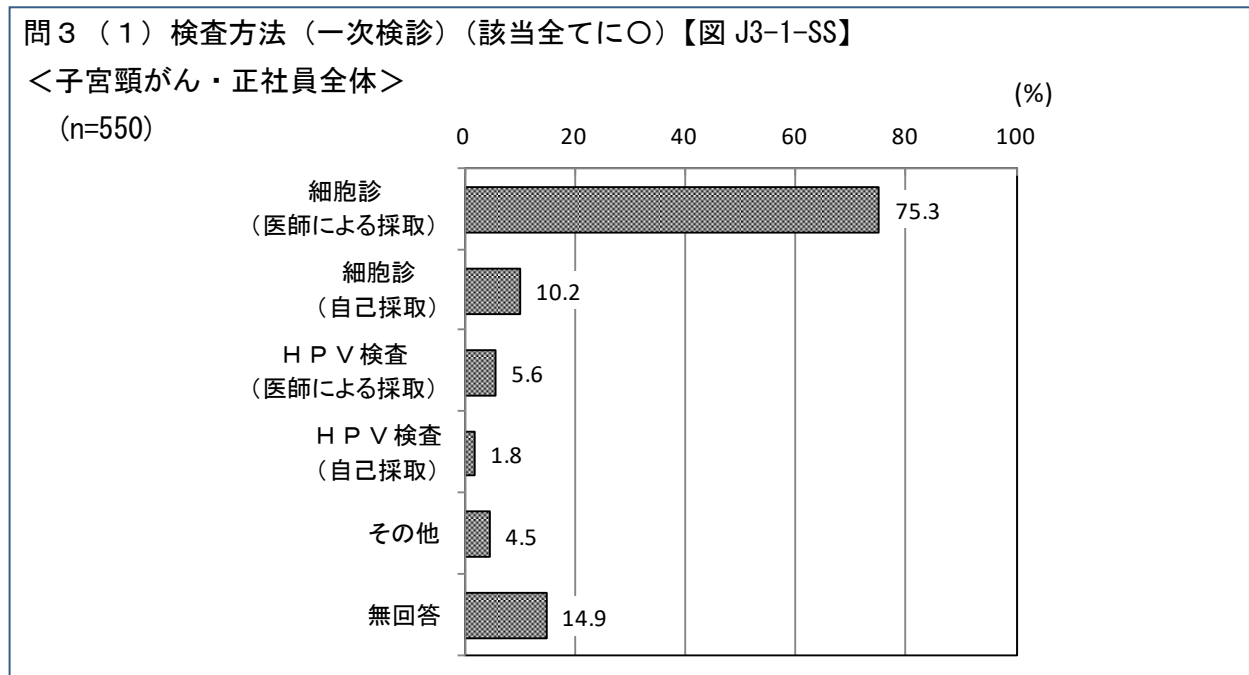


エ. 子宮頸がん

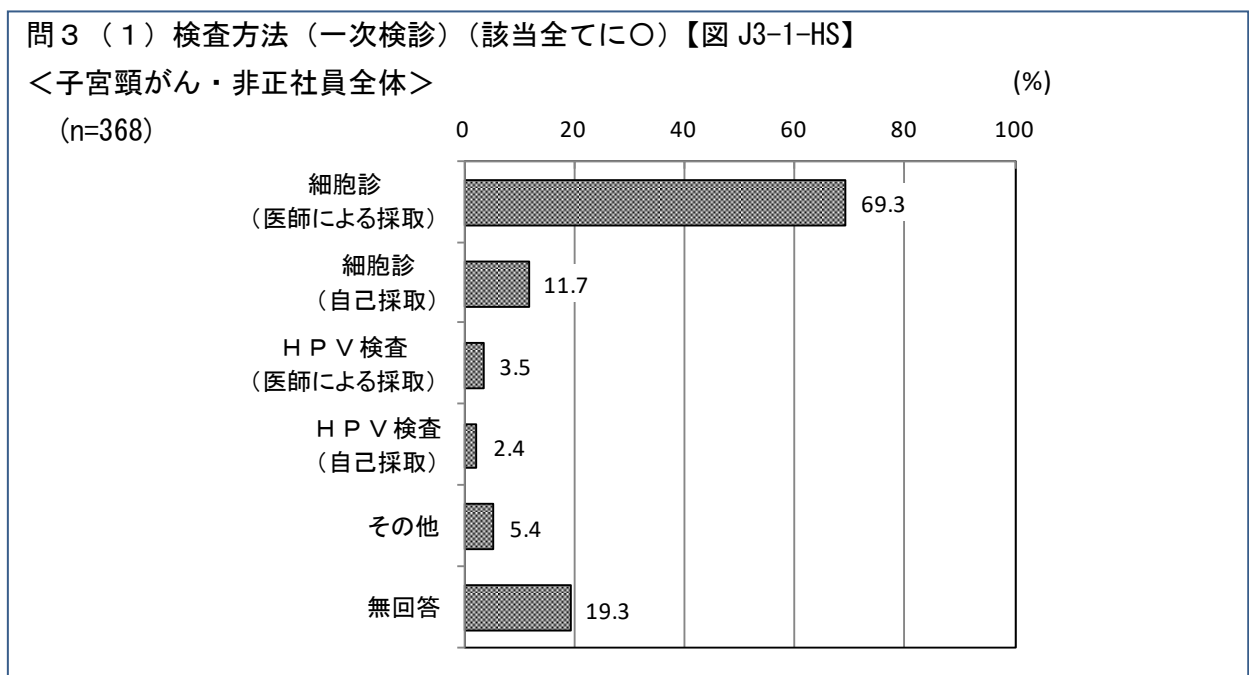
【全体の傾向】

子宮頸がん検診（一次検診）の検査方法は、正社員・非正社員とも「細胞診（医師による採取）」がそれぞれ75.3%、69.3%で最も多い。「細胞診（自己採取）」がそれぞれ10.2%、11.7%でこれに次いでいる。（図 J3-1-SS/図 J3-1-HS）

[正社員]



[非正社員]



オ. 乳がん

【全体の傾向】

乳がん検診（一次検診）の検査方法は、正社員・非正社員とも「マンモグラフィ」がそれぞれ72.5%、68.8%で最も多い。

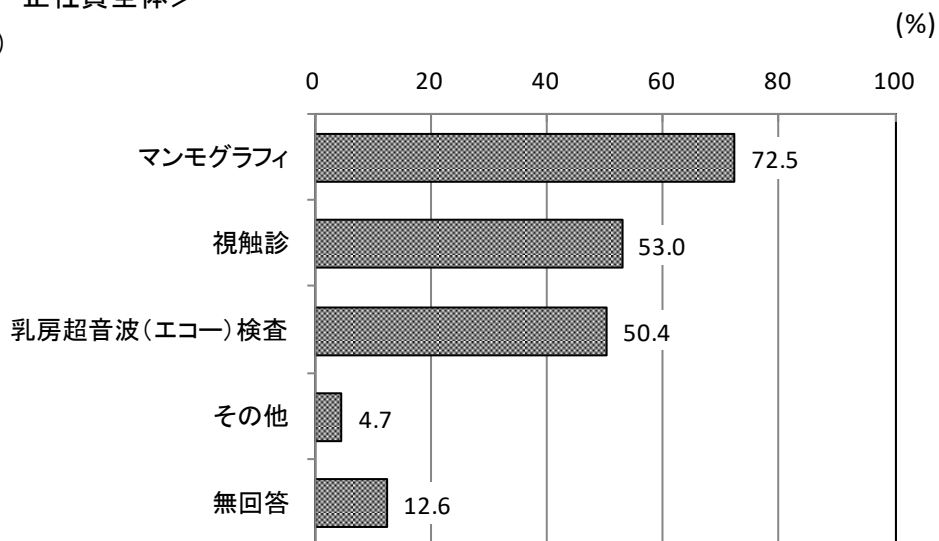
「視触診」、「乳房超音波（エコー）検査」もそれぞれ5割台。（図 J3-1-SN／図 J3-1-HN）

[正社員]

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 J3-1-SN】

<乳がん・正社員全体>

(n=570)

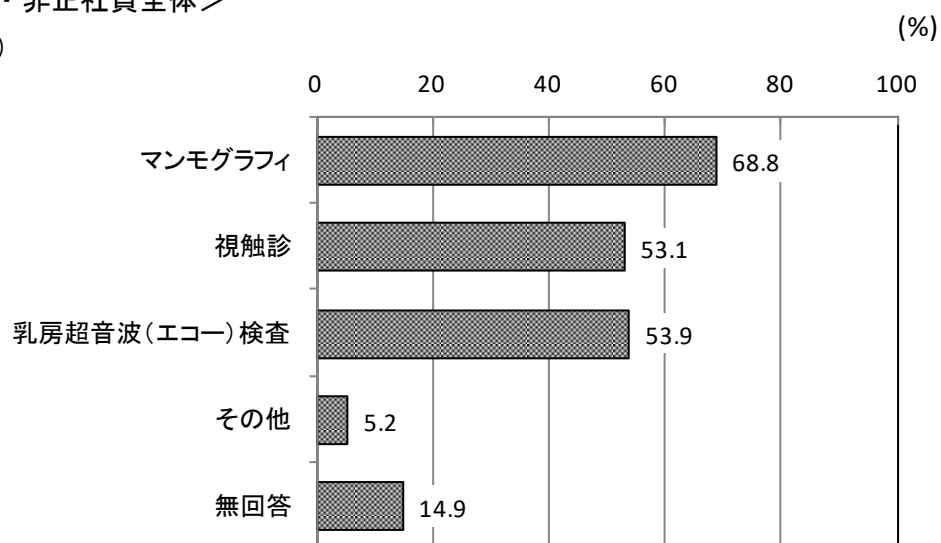


[非正社員]

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 J3-1-HN】

<乳がん・非正社員全体>

(n=388)



(2) 受診対象者の設定状況

ア. 胃がん

【全体の傾向】

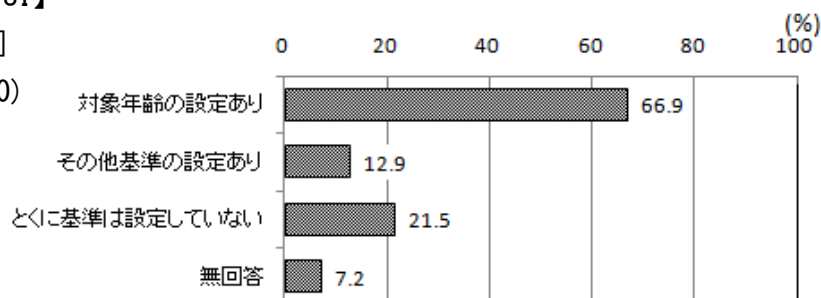
胃がん検診の受診対象者の設定状況は、正社員・非正社員とも「対象年齢の設定あり」がそれぞれ 66.9%、68.9%で最も多い。「その他基準の設定あり」も含めた<受診対象者の設定あり>は7割を超える。(図 J3-2-SI/図 J3-2-HI)

問3 (2) 受診対象者の設定の有無 (あてはまるもの全てに○の上、具体的に記入)

【図 J3-2-SI】

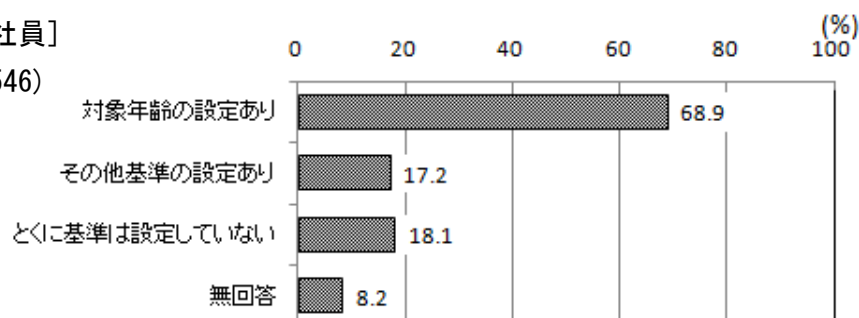
[正社員]

(n=780)

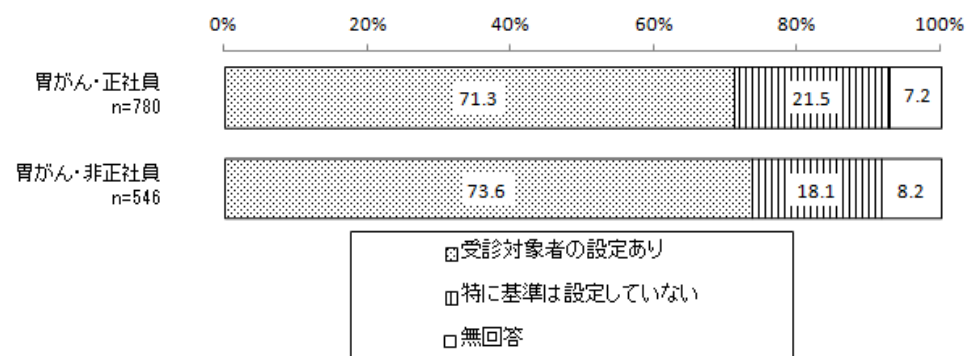


[非正社員]

(n=546)



問3 (2) より 受診対象者設定の有無※ 【図 J3-2-HI】



※ <受診対象者の設定あり>は、問3において「受診対象者の設定の有無」から「対象年齢の設定あり」または「その他基準の設定あり」に1つ以上の選択があった事業所数より算出。

イ. 大腸がん

【全体の傾向】

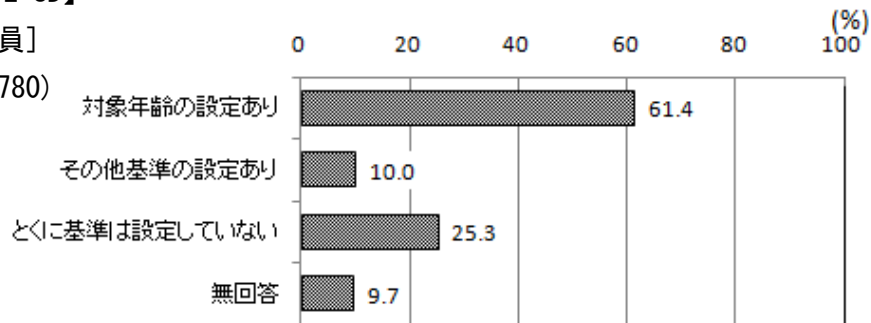
大腸がん検診の受診対象者の設定状況は、正社員・非正社員とも「対象年齢の設定あり」がそれぞれ61.4%、62.8%で最も多い。(図 J3-2-SD/図 J3-2-HD)

問3(2) 受診対象者の設定の有無(あてはまるもの全てに○の上、具体的に記入)

【図 J3-2-SD】

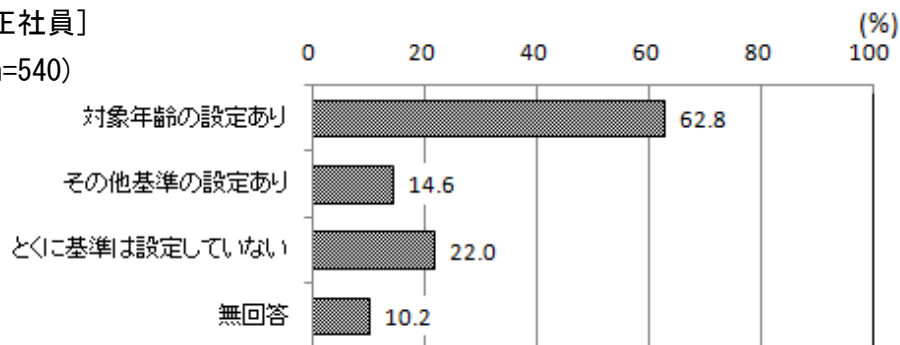
[正社員]

(n=780)

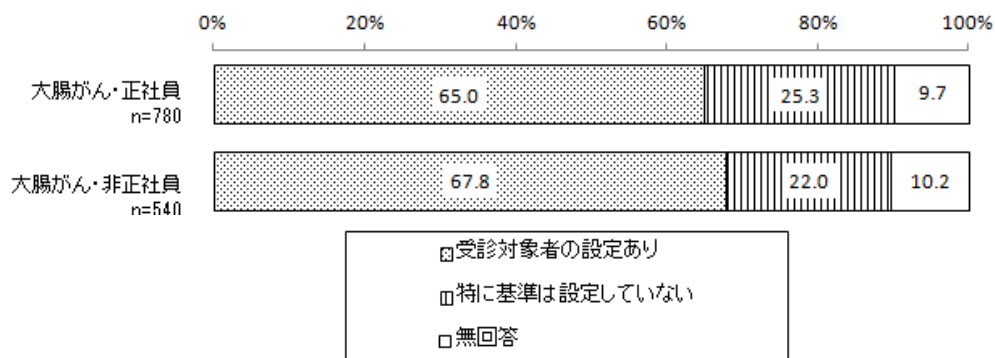


[非正社員]

(n=540)



問3(2)より 受診対象者設定の有無※ 【図 J3-2-HD】



※ <受診対象者の設定あり>は、問3において「受診対象者の設定の有無」から「対象年齢の設定あり」または「その他基準の設定あり」に1つ以上の選択があった事業所数より算出。

ウ. 肺がん

【全体の傾向】

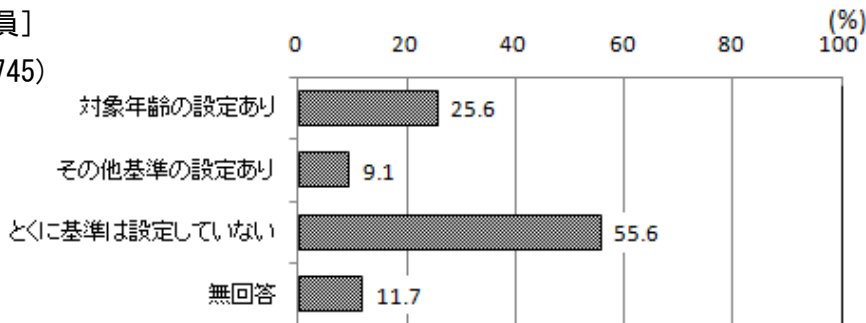
肺がん検診の受診対象者の設定状況は、正社員・非正社員とも「とくに基準は設定していない」が最も多く、ともに5割台。「対象年齢の設定あり」は正社員・非正社員それぞれ25.6%、21.2%。「その他基準の設定あり」も含めた＜受診対象者の設定あり＞は3割程度。(図 J3-2-SH/図 J3-2-HH)

問3 (2) 受診対象者の設定の有無 (あてはまるもの全てに○の上、具体的に記入)

【図 J3-2-SH】

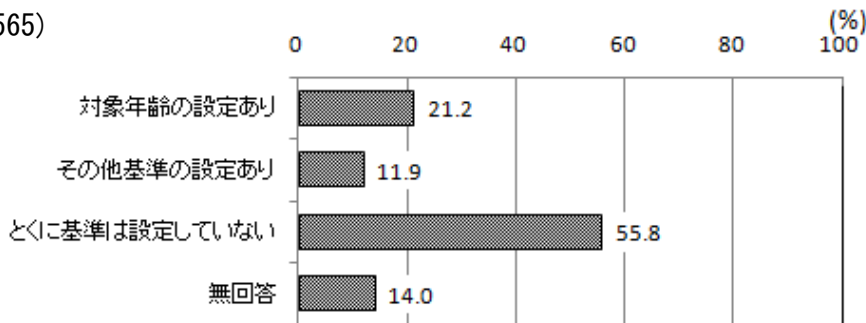
[正社員]

(n=745)

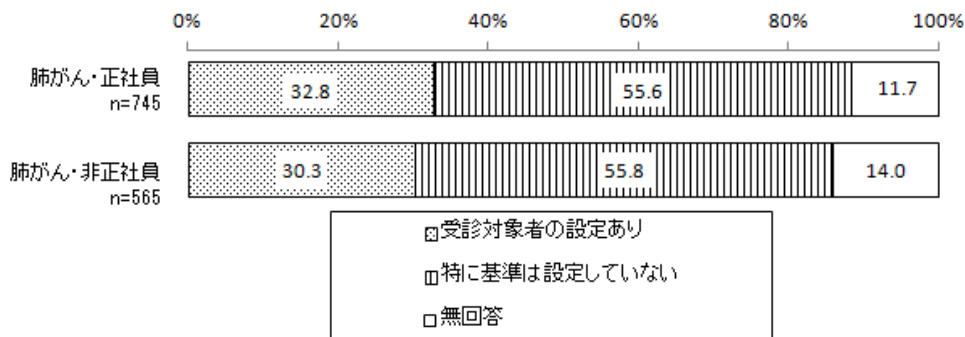


[非正社員]

(n=565)



問3 (2) より 受診対象者設定の有無※ 【図 J3-2-HH】



※ <受診対象者の設定あり>は、問3において「受診対象者の設定の有無」から「対象年齢の設定あり」または「その他基準の設定あり」に1つ以上の選択があった事業所数より算出。

エ. 子宮頸がん

【全体の傾向】

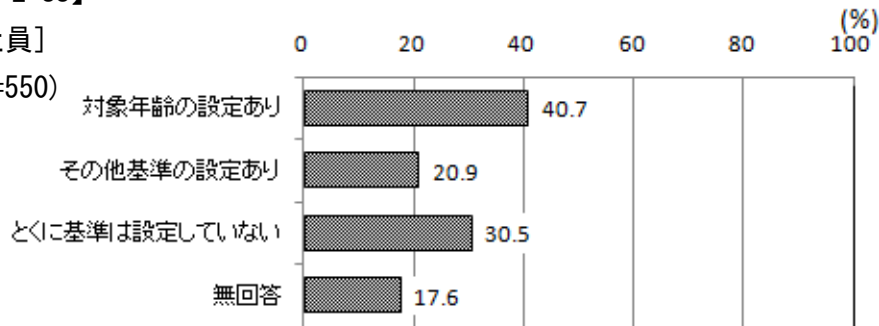
子宮頸がん検診の受診対象者の設定状況は、正社員・非正社員とも「対象年齢の設定あり」がそれぞれ40.7%、37.2%で最も多い。「その他基準の設定あり」も含めたく受診対象者の設定あり>は5割程度。(図 J3-2-SS/図 J3-2-HS)

問3 (2) 受診対象者の設定の有無 (あてはまるもの全てに○の上、具体的に記入)

【図 J3-2-SS】

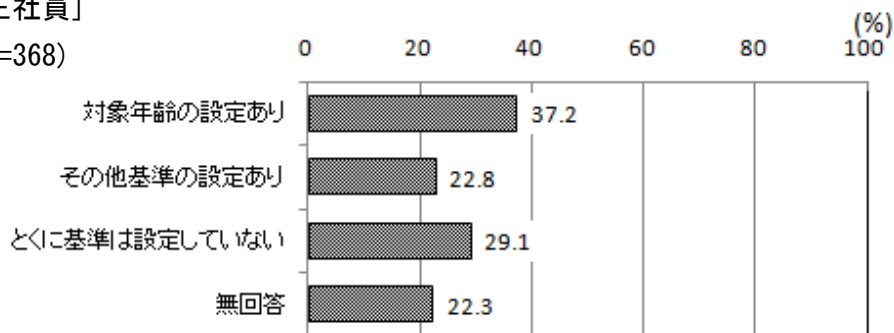
[正社員]

(n=550)

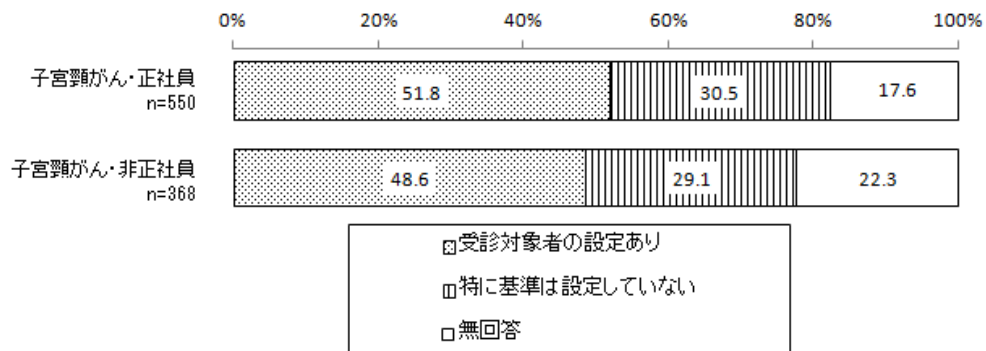


[非正社員]

(n=368)



問3 (2) より 受診対象者設定の有無※ 【図 J3-2-HS】



※ <受診対象者の設定あり>は、問3において「受診対象者の設定の有無」から「対象年齢の設定あり」または「その他基準の設定あり」に1つ以上の選択があった事業所数より算出。

オ. 乳がん

【全体の傾向】

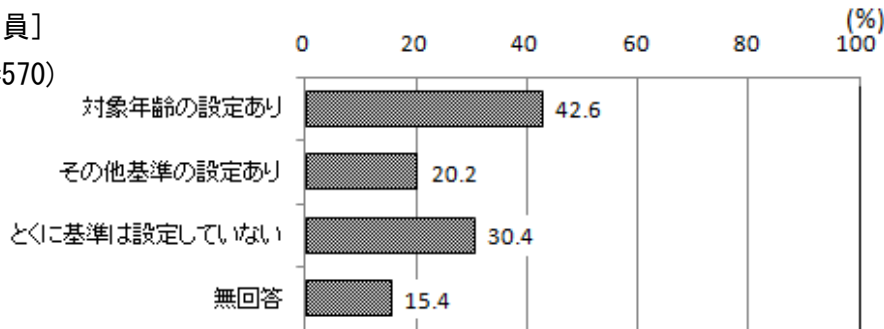
乳がん検診の受診対象者の設定状況は、正社員・非正社員とも「対象年齢の設定あり」がそれぞれ 42.6%、37.6%で最も多い。「その他基準の設定あり」も含めた＜受診対象者の設定あり＞は5割を超える。(図 J3-2-SN/図 J3-2-HN)

問3 (2) 受診対象者の設定の有無 (あてはまるもの全てに○の上、具体的に記入)

【図 J3-2-SN】

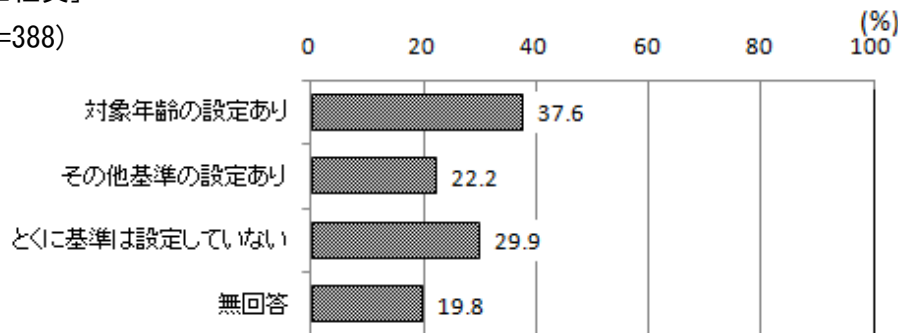
[正社員]

(n=570)

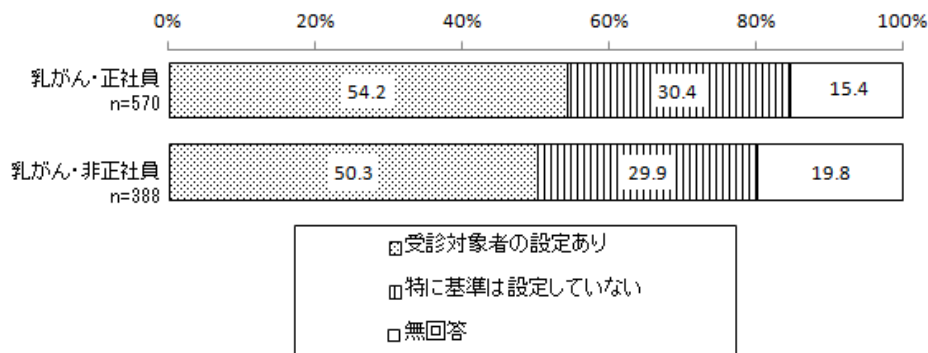


[非正社員]

(n=388)



問3 (2) より 受診対象者設定の有無※ 【図 J3-2-HN】



※ <受診対象者の設定あり>は、問3において「受診対象者の設定の有無」から「対象年齢の設定あり」または「その他基準の設定あり」に1つ以上の選択があった事業所数より算出。